

## 幼児教育学科

科目名: 保育実践演習			担当教員 氏名: 岡野 宏宣						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 臨床美術士、中・高美術教員の経験から、保育者として子どもの表現に共感する力や、子どもと造形活動を行うための工夫する力を身に付けることを目的とした授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
子ども達との関わりの中から興味・関心を知り、造形表現活動へ繋がる話題やきっかけを示すことによって子どもの知的好奇心を刺激し、子ども自身の表現が生かされる造形表現活動へつなげる。子どもの造形表現活動の姿をふり返り、学んだ内容を整理・記録する。そのなかで、子どもの理解を深め、より良い活動内容や環境の設定、保育士・幼稚園教諭としての援助・留意点を考察する。						・子どもの造形表現活動 ・活動実践 ・造形表現行為についての整理・記録			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9.				
A	知識・理解力		保育・教育の場や機会における造形表現活動の意義や内容について理解することが出来る。						
B	専門的技術		保育・教育の場や機会にかかわる者としての造形表現活動に関する技術を習得する。						
C	論理的思考力		保育・教育の場や機会にかかわる者として、子どもの造形表現活動に関する意義や内容、援助・留意点などについて理解し、実践した内容を整理・記録することができる。						
D	問題解決力		保育・教育における造形表現活動に関する意義や内容、援助・留意点などについて理解し、自ら活動計画を立て、実践することができる。						
H	コミュニケーション力		造形表現活動に取り組むなかで、自己・他者・子どもを理解し、コミュニケーションを育むことができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	60 %
特記事項: 『レポート(40%)』は、各活動後の学びをまとめたレポートである。『その他(60%)』は、過程の取り組み・態度である。 本科目はアクティブラーニングの一環として、保育所、幼稚園等で造形活動を行い、子ども達と直接ふれあう関わり合いの中で実践的な指導力を身につけている。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ⑭回目終了時に活動の記録(レポート)を課し、⑮回目の振り返り時にレポート提出と発表をもって評価していきます。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 発表時に口頭でフィードバックを行うとともに、レポートにコメントを添えて伝える。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①ガイダンス(「保育実践演習」の概略の理解)									
②子どもの造形表現活動について事例検討①				【復習】事例検討から気付きを整理	60分				
③子どもの造形表現活動について事例検討②				【復習】事例検討から気付きを整理	60分				
④造形表現の実践(子どもの造形活動を想定して)①				【復習】学びの整理	60分				
⑤造形表現の実践(子どもの造形か道を想定して)②				【復習】学びの整理	60分				
⑥子どもの興味・関心を知る(保育園等で子どもの観察)				【復習】子どもの興味・関心の整理	120分				
⑦子どもの興味・関心に関する保育者へのアンケートの作成				【復習】アンケートの準備	120分				
⑧保育者のアンケートを元に、再度、子ども達の興味関心について知る				【復習】子どもの興味・関心の整理	60分				
⑨子どもの興味・関心を刺激するきっかけ(保育者の意識的な関わり)を考える				【復習】きっかけの材料作り	120分				
⑩きっかけを提示し子どもの興味・関心を造形活動へつなげる関わりを実践する①				【復習】記録記入	60分				
⑪きっかけを提示し子どもの興味・関心を造形活動へつなげる関わりを実践する②				【復習】記録記入	60分				
⑫子どもの興味・関心を元にした造形活動案を考える				【復習】材料・道具の準備	120分				
⑬学生による活動案のロールプレイング				【復習】学んだことを整理・記録	60分				
⑭子ども達と造形表現活動の実践				【復習】学んだことを整理・記録	60分				
⑮造形表現活動実践の振り返り、まとめ									
使用テキスト: 必要に応じて資料を提供します。				その他参考文献など: 適時紹介します。 造形表現活動に関する文献を多く読むこと。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 様々な造形表現活動を授業を履修した学生と共に、子どもとかわる造形表現活動の題材研究をしながら、計画・実践していきます。									